

令和5年度 市内小中学校における
「かんきょうノート」の取組みについて
(大和市環境学習支援事業 報告書)



大和市気候非常事態宣言ロゴマーク

令和5年12月

大和市

はじめに

令和5年の夏休みに、大和市内のすべての公立中学校9校の3,871人と小学校1校の73人が、「かんきょうノート」により節電などの「環境にやさしいライフスタイル」に取り組みました。

今回は1週間の取り組みでしたが、この取り組みを1年間続けた場合、一人当たりの二酸化炭素排出量を約499キログラム削減できることとなります。

仮に大和市内のすべての約11万5千世帯が同じ取り組みを1年間行くと、二酸化炭素排出量を約5万8千トン削減することができます。現在の大和市の目標では2030年までに年約14万4千トン削減する必要がありますが、「かんきょうノート」の取組により、この削減目標の達成に一步近づくこととなります(21ページをご覧ください)。

生徒・児童やご家庭の皆さんからは、様々な感想やコメントもいただきました。日々の頑張りや工夫が二酸化炭素排出量の削減につながるのだという喜びが伝わってきました。一方で、エアコンや車の使用を控えるのは難しいなど、率直な悩みもいただきました(10~14ページと17~20ページをご覧ください)。

一人一人にとっては小さな日々の取り組みでも、その取り組みが多くの人に広がることで、途方もなく見える二酸化炭素をはじめとした温室効果ガス排出量削減の目標の達成が、現実のものとなります。

生徒・児童に持続可能な地球と大和市を受け継いでいくためにも、まずは一人一人が日々の小さな取り組みを行っていきましょう。

目次

第1章 取組みの概要

1. 「かんきょうノート」によるこれまでの取組みの経過	1
2. 令和5年度の実施状況	2
1) 中学校	2
2) 小学校	2

第2章 取組み結果

1. 中学校の取組み結果	3
1) 取組み項目と取組みの評価方法	3
2) 取組みのまとめ	5
3) 各中学校の取組み	6
4) 項目別の取組み状況	9
5) 生徒の感想・コメント	10
6) 家族の感想・コメント	13
2. 小学校の取組み結果	15
1) 取組み項目と取組みの評価方法	15
2) 取組みのまとめ	15
3) 項目別の取組み状況	16
4) 児童が感じたこと	17
5) 家族の感想	19
3. 中学校・小学校の取組みのまとめ	21
4. 今回の見直しと今後の課題	22
1) 中学生版について	22
2) 小学生版について	22

第1章 取組みの概要

1. 「かんきょうノート」によるこれまでの取組みの経過

地球温暖化対策として、二酸化炭素排出量を削減することが求められていますが、「かんきょうノート」は、市民の皆さまに、二酸化炭素排出量を削減する「環境にやさしいライフスタイル（環境配慮行動）」を普及することを目的に、大和市が平成14年度に始めたものです。日々の生活の中で、「かんきょうノート」に記載された環境配慮行動に取り組んでもらい、取組みの結果、どのくらい二酸化炭素の排出を削減できたか算出してもらいます。削減量を数値として確認することで環境配慮行動の効果を実感し、習慣として身につけることの重要性を意識してもらうことを目的としています。

自治会等での実践を経て、平成18年度からは環境教育の取組みとして、市内すべての市立中学校において取り組まれてきました。さらに、平成26年度からは、希望する小学校も対象に加え、現在まで取組みが続いています。

なお、令和5年度までの直近5年間の実施経過は、表1のとおりです。令和5年度は、中学校及び希望する小学校で実施し、取り組んだ人数は、3,944人（中学校3,871人、小学校73人）となりました。

表1 かんきょうノートの実施経過（直近5年）

年度	配布先	配布数	参加者数（回収率）
令和元年度	市立全中学校9校 参加希望の市立小学校7校	中学校5,338人 小学校690人 合計6,028人	中学校4,154人（77.8%） 小学校585人（84.8%） 合計4,739人（78.6%）
令和2年度	市立全中学校9校 参加希望の市立小学校6校	中学校5,359人 小学校513人 合計5,872人	中学校2,933人（54.7%） 小学校484人（94.3%） 合計3,417人（58.2%）
令和3年度	市立全中学校9校 参加希望の市立小学校3校	中学校5,571人 小学校374人 合計5,945人	中学校4,338人（77.9%） 小学校332人（88.8%） 合計4,670人（78.6%）
令和4年度	市立全中学校9校 市内全小学校20校（※1）	中学校5,600人 小学校1,890人 合計7,490人	中学校4,104人（73.3%） 小学校応募総数710作品（※2）
令和5年度	市立全中学校9校 参加希望の市立小学校1校	中学校5,669人 小学校91人 合計5,760人	中学校3,871人（68.3%） 小学校73人（80.2%） 合計3,944人（68.5%）

※1 市立全小学校19校+私立聖セシリア小学校の計20校

※2 令和4年度 小学校は「大和市気候非常事態宣言」のロゴマークの募集数

2. 令和5年度の実施状況

1) 中学校

中学校の実施状況は、表2のとおりです。市立全中学校9校で実施し、参加者数は3,871人でした。令和5年度は、従来どおりの紙での回答に加え、e-KANAGAWA を活用した電子申請による回答も選択できるようにしました。紙と電子申請の回答を合わせた全体の回収率は、68.3%でした。

表2 中学校の生徒数と参加者数、回収率

No.	中学校名	生徒数(人)	参加者数(人)			回収率
			紙	電子申請	計	
1	大和中学校	836	0	621	621	74.3%
2	光丘中学校	914	780	0	780	85.3%
3	渋谷中学校	321	252	0	252	78.5%
4	つきみ野中学校	962	0	383	383	39.8%
5	鶴間中学校	461	389	0	389	84.4%
6	引地台中学校	676	0	283	283	41.9%
7	上和田中学校	358	256	0	256	71.5%
8	南林間中学校	812	700	0	700	86.2%
9	下福田中学校	329	104	103	207	62.9%
	計	5,669	2,481	1,390	3,871	68.3%

生徒数は、令和5年5月1日現在の在籍数

2) 小学校

小学校の実施状況は、表3のとおりです。参加校は、南林間小の1校でした。参加者数は73人、回収率は80.2%でした。

表3 小学校の生徒数と参加者数、参加率

No.	小学校名	生徒数(人)	参加者数(人)	回収率
1	南林間小学校	91	73	80.2%

生徒数は、申込時(令和5年5月23日)の在籍数

第2章 取組み結果

1. 中学校の取組み結果

1) 取組み項目と取組みの評価方法

中学生版の「かんきょうノート」では、13の項目に1週間チャレンジしてもらいました。項目の内訳は、表4のとおりです。

表4 中学生版「かんきょうノート」取組み項目

No.	分野	内容
A 取 組 み 自 身 で 呼 び か け る こ と	1	節電 使っていない照明や見ていないテレビなどは消す。
	2	節電 冷蔵庫の無駄な開閉をなくす。開ける時間を短くする。
	3	節水 水やお湯を使う時は、蛇口をこまめに止める。
	4	暮らし方 毎日の食事は残さず食べる。
	5	暮らし方 使い捨てのものは使用しない。※マスクなどの衛生品は含まない。
B 呼 び か け る こ と 家 族 や 周 圍 に	1	節電 家族で節電に取り組む。
	2	節電 冷房や暖房の適正な温度調整、フィルターなどの清掃を行う。
	3	節電 電気ポッドを長時間使わない時はプラグを抜く。 (保温せず、使う前に再沸騰する。使う電気が少なくなります)
	4	節水 家族で節水に取り組む。
	5	暮らし方 マイバッグを利用する。(レジ袋を貰わなかった日に○)
	6	暮らし方 ごみは決められたとおりに分けて捨てる。
	7	暮らし方 自転車や公共交通を利用する。(マイカーの使用を控える)
	8	暮らし方 お風呂は間隔をあけずに続けて入る。 (追いだきを減らして、ガスを節約)

中学生版の「かんきょうノート」には、各取組み項目を1年間実施した場合の二酸化炭素削減量が表示されています。

そこで、「今までをチェック」の列に記入された「よく出来た」、「出来た」、「出来ていない」に応じ、各取組み項目を1年間実施した場合の二酸化炭素削減量を100%、50%、0%として、「取組み前の二酸化炭素削減量」を算出しました。

また、1週間チャレンジした結果の「達成の出来た日数」の列に記入された「6~7日」、「3~5日」、「0~2日」に応じ、各取組み項目を1年間実施した場合の二酸化炭素削減量を100%、50%、0%として、「取組み後の削減量」を算出しました。

そして、「取組み後の削減量」を評価するため、次のとおり「取組みによる改善率」と「全国平均からの削減比率」を算出しました。

「取組みによる改善率」は、取組みをしたことによる効果を示すもので、「取組み前の削減量」と比べ、「取組み後の削減量」がどの程度改善したかを表しています。

$$\text{取組みによる改善率 (\%)} = \frac{\{(\text{取組み後の二酸化炭素削減量} - \text{取組み前の二酸化炭素削減量})\}}{\text{取組み前の二酸化炭素排出量}} \times 100$$

「全国平均からの削減比率」は、取組みをしなかった場合の二酸化炭素排出量として、図1に示す「2021年度一人当たりの二酸化炭素排出量(1,780kg/人・年)」を用い、削減の効果を「全国平均からの削減比率」として計算しました。つまり、全国平均の一般的な人と比べ、二酸化炭素をどの程度削減しているかを表しています。

$$\text{全国平均からの削減比率 (\%)} = \frac{(\text{一人当たりの取組み後の二酸化炭素削減量})}{(\text{一人当たりの二酸化炭素排出量})} \times 100$$

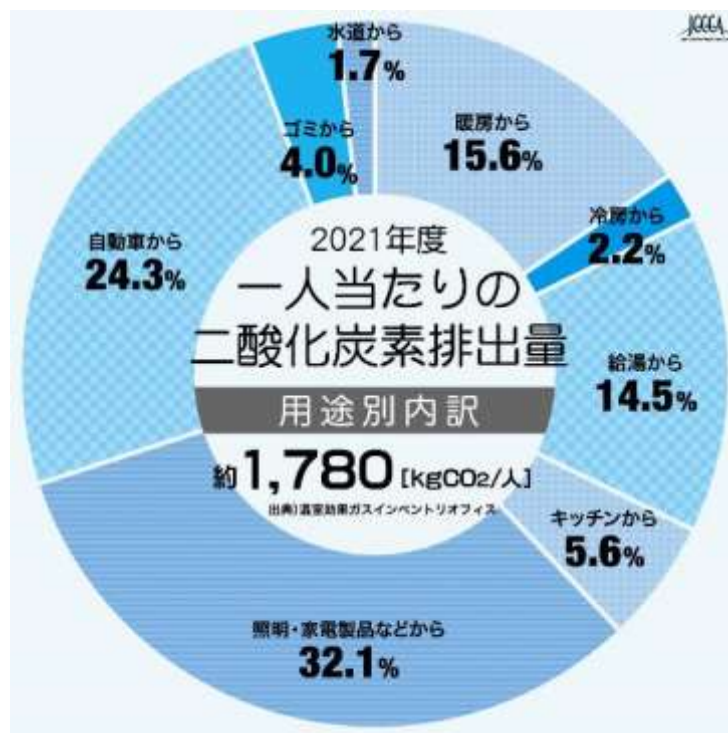


図1 2021年度一人当たりの二酸化炭素排出量
出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト

※図中の kgCO₂ は「キログラム-二酸化炭素 (CO₂) 換算」という単位です。温室効果ガスは、二酸化炭素だけではありませんが、すべてを二酸化炭素に換算したと仮定して計算しているものです。本報告書では二酸化炭素のみを扱うため、「二酸化炭素換算」という言葉は省略します。また、1年間における二酸化炭素の排出量であることから、kg/年・人という単位を用いることとします。

2) 取組みのまとめ

令和5年度の学校別の取組み結果は、表5のとおりです。

表5 学校別の取組み前後の二酸化炭素削減量、改善率、削減比率

No	中学校名	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/年)		取組みによる 改善率	全国平均 からの 削減比率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後		
1	大和中学校	249,702	324,189	402	522	29.8%	29.3%
2	光丘中学校	362,623	405,374	465	520	11.8%	29.2%
3	渋谷中学校	110,276	119,969	438	476	8.8%	26.7%
4	つきみ野中学校	181,822	177,998	475	465	-2.1%	26.1%
5	鶴間中学校	182,161	202,769	468	521	11.3%	29.3%
6	引地台中学校	134,608	124,693	476	441	-7.4%	24.8%
7	上和田中学校	120,681	134,421	471	525	11.4%	29.5%
8	南林間中学校	337,142	380,436	482	543	12.8%	30.5%
9	下福田中学校	81,359	91,497	393	442	12.5%	24.8%
	計	1,760,374	1,961,346	455	507	11.4%	28.5%

学年別の取組み結果は、表6のとおりです。

表6 学年別の取組み前後の二酸化炭素削減量、改善率、削減比率

学年	参加者数(人)	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/年)		取組みによる 改善率	全国平均 からの 削減比率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後		
1年	1,254	571,125	613,477	455	489	7.4%	27.5%
2年	1,176	549,597	599,708	467	546	9.1%	30.7%
3年	1,441	639,652	748,161	444	509	17.0%	28.6%
	計	1,760,374	1,961,346	455	507	11.4%	28.5%

今回の取組みにおける中学校全体の二酸化炭素削減量の合計は約1,961トン(1トン=1000 kg)となりました。

取組み前後の二酸化炭素排出量を比較した「取組みによる改善率」より、日々の生活による二酸化炭素排出量は生徒一人当たり11.4パーセントの削減となりました。

また、2021年度の一人当たりの二酸化炭素排出量と比較した「全国平均からの削減比率」より、取組み後の二酸化炭素排出量は、全国平均の一般的な人と比べ28.5パーセント少なくなりました。

3) 各中学校の取組み

(1) 大和中学校

大和中学校の取組みは、表7-1のとおりです。取組みを1年間続けた場合の二酸化炭素削減量は、全体で年間約324トン、一人当たりでは約522kgでした。

表7-1 大和中学校の取組みまとめ

学年	参加者数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/年)		取組みによる 改善率	全国平均 からの 削減比率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後		
1年	218人	104,997	110,923	481.6	508.8	5.6%	28.6%
2年	218人	108,159	119,090	496.1	546.3	10.1%	30.7%
3年	185人	36,546	94,176	197.5	509.1	157.7%	28.6%
全体	621人	249,702	324,189	402.1	522.0	29.8%	29.3%

(2) 光丘中学校

光丘中学校の取組みは、表7-2のとおりです。取組みを1年間続けた場合の二酸化炭素削減量は、全体で年間約405トン、一人当たりでは約520kgでした。

表7-2 光丘中学校の取組みまとめ

学年	参加者数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/年)		取組みによる 改善率	全国平均 からの 削減比率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後		
1年	252人	112,949	127,057	448.2	504.2	12.5%	28.3%
2年	241人	108,773	119,189	451.3	494.6	9.6%	27.8%
3年	287人	140,901	159,128	490.9	554.5	12.9%	31.1%
全体	780人	362,623	405,374	464.9	519.7	11.8%	29.2%

(3) 渋谷中学校

渋谷中学校の取組みは、表7-3のとおりです。取組みを1年間続けた場合の二酸化炭素削減量は、全体で年間約120トン、一人当たりでは約476kgでした。

表7-3 渋谷中学校の取組みまとめ

学年	参加者数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/年)		取組みによる 改善率	全国平均 からの 削減比率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後		
1年	76人	31,397	29,984	413.1	394.5	-4.5%	22.2%
2年	89人	40,627	48,121	456.5	540.7	18.4%	30.4%
3年	87人	38,252	41,864	439.7	481.2	9.4%	27.0%
全体	252人	110,276	119,969	437.6	476.1	8.8%	26.7%

(4) つきみ野中学校

つきみ野中学校の取組みは、表7-4のとおりです。取組みを1年間続けた場合の二酸化炭素削減量は、全体で年間約178トン、一人当たりでは約465kgでした。

表7-4 つきみ野中学校の取組みまとめ

学年	参加者数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/年)		取組みによる 改善率	全国平均 からの 削減比率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後		
1年	116人	52,651	41,541	453.9	358.1	-21.1%	20.1%
2年	人	0	0	-	-	-	-
3年	267人	129,171	136,457	483.8	511.1	5.6%	28.7%
全体	383人	181,822	177,998	474.7	464.7	-2.1%	26.1%

(5) 鶴間中学校

鶴間中学校の取組みは、表7-5のとおりです。取組みを1年間続けた場合の二酸化炭素削減量は、全体で年間約203トン、一人当たりでは約521kgでした。

表7-5 鶴間中学校の取組みまとめ

学年	参加者数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/年)		取組みによる 改善率	全国平均 からの 削減比率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後		
1年	138人	66,805	71,798	484.1	520.3	7.5%	29.2%
2年	121人	53,140	62,528	439.2	516.8	17.7%	29.0%
3年	130人	62,216	68,443	478.6	526.5	10.0%	29.6%
全体	389人	182,161	202,769	468.3	521.3	11.3%	29.3%

(6) 引地台中学校

引地台中学校の取組みは、表7-6のとおりです。取組みを1年間続けた場合の二酸化炭素削減量は、全体で年間約125トン、一人当たりでは約441kgでした。

表7-6 引地台中学校の取組みまとめ

学年	参加者数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/年)		取組みによる 改善率	全国平均 からの 削減比率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後		
1年	59人	26,017	25,857	441.0	438.3	-0.6%	24.6%
2年	158人	72,045	66,258	456.0	419.4	-8.0%	23.6%
3年	66人	36,546	32,578	553.7	493.6	-10.9%	27.7%
全体	283人	134,608	124,693	475.6	440.6	-7.4%	24.8%

(7) 上和田中学校

上和田中学校の取組みは、表7-7のとおりです。取組みを1年間続けた場合の二酸化炭素削減量は、全体で年間約134トン、一人あたりでは約525kgでした。

表7-7 上和田中学校の取組みまとめ

学年	参加者数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/年)		取組みによる 改善率	全国平均 からの 削減比率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後		
1年	70人	34,566	34,875	493.8	498.2	0.9%	28.0%
2年	84人	36,766	43,657	437.7	519.7	18.7%	29.2%
3年	102人	49,349	55,889	483.8	547.9	13.3%	30.8%
全体	256人	120,681	134,421	471.4	525.1	11.4%	29.5%

(8) 南林間中学校

南林間中学校の取組みは、表7-8のとおりです。取組みを1年間続けた場合の二酸化炭素削減量は、全体で年間約380トン、一人あたりでは約544kgでした。

表7-8 南林間中学校の取組みまとめ

学年	参加者数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/年)		取組みによる 改善率	全国平均 からの 削減比率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後		
1年	249人	115,004	140,426	461.9	564.0	22.1%	31.7%
2年	208人	106,057	113,546	509.9	545.9	7.1%	30.7%
3年	243人	116,081	126,464	477.7	520.4	8.9%	29.2%
全体	700人	337,142	380,436	481.6	543.5	12.8%	30.5%

(9) 下福田中学校

下福田中学校の取組みは、表7-9のとおりです。取組みを1年間続けた場合の二酸化炭素削減量は、全体で年間約91トン、一人あたりでは約442kgでした。

表7-9 下福田中学校の取組みまとめ

学年	参加者数	全体の二酸化炭素削減量 (kg/年)		一人当たりの二酸化炭素削減量 (kg/年)		取組みによる 改善率	全国平均 からの 削減比率
		取組み前	取組み後	取組み前	取組み後		
1年	76人	26,739	31,016	351.8	408.1	16.0%	22.9%
2年	57人	24,030	27,319	421.6	479.3	13.7%	26.9%
3年	74人	30,590	33,162	413.4	448.1	8.4%	25.2%
全体	207人	81,359	91,497	393.0	442.0	12.5%	24.8%

4) 項目別の取組み状況

項目別の取組み状況は、表8のとおりです。

「今までをチェック」の列に「よく出来た」、「出来た」と記入した人の割合を「取組み前」の達成状況とし、1週間チャレンジした結果の「達成の出来た日数」の列に「6~7日」、「3~5日」と記入した人の割合を「取組み後」の達成状況として算出しました。

また、「取組み前」と「取組み後」の割合を比較して、取組みによる「改善率」を算出しました。

網かけした項目は、達成状況が90%以上、または、改善率が5%以上の項目です。

どの項目も取組み前から実践している人が多く、日頃から環境意識が高いことがうかがわれます。

項目別では、「使っていない照明や見ていないテレビなどは消す」や「水やお湯を使う時は、蛇口をこまめに止める」については、取組みを通じて、意識することで改善する傾向がみられました。一方、「マイバッグを利用する」や「ごみは決められたとおりに分けて捨てる」については、毎日実践の機会がないことも多く、改善率がマイナスになったものと思われる。

表8 項目別の取組み状況

項目番号	分野	内容	取組み前	取組み後	改善率	
A 自分自身で 取り組むこと	1	節電	使っていない照明や見ていないテレビなどは消す。	89.9%	94.5%	5.1%
	2	節電	冷蔵庫の無駄な開閉をなくす。開ける時間を短くする。	90.7%	93.7%	3.3%
	3	節水	水やお湯を使う時は、蛇口をこまめに止める。	86.4%	91.5%	5.9%
	4	暮らし方	毎日の食事は残さず食べる。	90.3%	93.7%	3.7%
	5	暮らし方	使い捨てのものは使用しない。※マスクなどの衛生品は含まない	84.3%	87.2%	3.5%
B 家族や周囲に 呼びかけること	1	節電	家族で節電に取り組む。	83.9%	87.6%	4.4%
	2	節電	冷房や暖房の適正な温度調整、フィルターなどの清掃を行う。	78.8%	77.0%	-2.3%
	3	節電	電気ポットを長時間使わない時はプラグを抜く。	70.3%	72.2%	2.7%
	4	節水	家族で節水に取り組む。	84.5%	88.1%	4.3%
	5	暮らし方	マイバッグを利用する。	91.4%	90.5%	-1.0%
	6	暮らし方	ごみは決められたとおりに分けて捨てる。	96.6%	94.5%	-2.2%
	7	暮らし方	自転車や公共交通を利用する。	73.0%	75.7%	3.8%
	8	暮らし方	お風呂は間隔をあげずに続けて入る。	74.2%	77.5%	4.5%

5) 生徒の感想・コメント

「かんきょうノート」の取組みを通じて気づいたことや感じたことなどを「感想・コメント欄」に記入してもらいました。主なものは、次のとおりです。

<難しかった・大変だった>

- コンビニでつい割り箸をもらってしまった。
- 二酸化炭素を減らす活動は思っていたより大変でつらかった。いつもやってくれている親に感謝しないと思いました。
- 「マイカー」と「レジ袋」は使ってしまった。自分が楽すると二酸化炭素が増えてしまうことが分かった。
- 家族が共働きで自分も塾があるので、お風呂の間隔を空けずに入ることがほとんどできなかった。
- マイカーの使用を控えるのは難しかったけれど、近いところに行くときは、歩きや自転車をうまく活用したいと思いました。
- 両親の仕事柄マイカーの利用を控えるのが難しかった。
- 「めんどくさい」と思ったけど、環境のため、地球のため、みんなのためと考えながら、めんどくさがりながら取り組んだ。
- 今年の夏は暑すぎてクーラーを使ってばかりいたが、31℃になるまではエアコン、扇風機など使わずに耐えていた。8時頃に31℃になった日は地球温暖化の影響を痛感した。この31℃まで耐える戦法は平均10時まで続いた。クーラーを使わないで暮らすことがとてもとても難しかった。
- 普段からたくさんの電化製品を使用しているから、その使用を制限することが大変なのだと感じました。
- 新しい取組みは面倒に感じました。普段の習慣を変えることがすごく難しかったです。

<意識するだけで変わることを知った>

- 今回の取組みで、知らない間に二酸化炭素をたくさん排出していることに気づきました。節約だけではなく、地球の未来のためにも節電、節水を意識したいと思います。
- 少し意識するだけで、こんなに二酸化炭素の排出量を削減できるということを知ることができました。
- チャレンジ中意識したことで、水の無駄使いを減らすことができました。
- 紙に書くことで、自分のできていることとできていないことを理解することができた。「こんなことができていないんだ」と気づくことで、次につなげることができた。
- 意識したらこんなに変わると分かったので、これからも意識して、二酸化炭素を削減してこの世を涼しくするぞー。

<こんなことが地球のためになると初めて知った・発見した>

- 冷房をつけているときに扇風機をつけると、設定温度が高くても快適に過ごすことができると分かりました。
- プラグを抜くと節電になることを初めて知りました。
- 家の中を探してみるとコンセントがさしっぱなしだったので驚きました。
- 自動車は思った以上に二酸化炭素を出しているんだなと思った。
- 私みみたいな平凡な中学生でも地球のためにできることはあるんだな～と思いました。

<こんなことを頑張った>

- 部屋にすだれをつけて、なるべく昼間にエアコンは使わないようにしました。
- 夏はエアコンを使うため、なるべく家族みんなが同じ部屋で寝るようにしています。
- 歯磨きのときも水を止めていた。
- ペットがいるので、リビングの電気をつけっぱなしにすることがあったのですが、節電のために、使っていない部屋の電気を消したり、明るい時間帯は太陽光を活用したりなど、家族で協力して取り組むことができました。

- 「使い捨て」を減らすため、計算用には新しい紙を使わず、うら紙を使うなどして、もったいないを1つでも減らせるように努力した。
- スマホの充電器を小型ソーラーパネルに変えました。
- 図書館や塾の自習室で勉強をし、家やクーラーで扇風機を使う場面を減らした。

<続けていきたい>

- この取り組みのおかげで習慣が身についたので、このチャレンジ期間だけでなく、今後も続けていきたい。
- 意識してやっていることを意識せずに毎日のルーティンにできたらいいなと思う。無意識でできるようになるまで、意識してやっていきたい。
- 意識しながらやると3日目くらいから無意識にできるようになった。

<一人一人の心がけが大切>

- 一人一人が少しでも意識して行動すれば、地球を守れることが分かった。
- 現在、地球温暖化が進んでいるのは一人一人の意識がないからだと思います。日常の1つ1つを見直していけば、地球の環境悪化を防げると思いました。
- 世界を変えるには小さいことの積み重ねが大事だと思った。

<みんなでやるのが大切>

- 自分に取り組むだけでなく、家族でやるのが大切だと思った。
- 家族に呼びかけするのは正直かなり勇気がいりました。
- 自分ができることを増やすと、周囲も自然と真似してくれると思うので、まずは自分でできることを少しずつ増やしていく。
- 一人一人の生活でできることは限られているけど、みんなで取り組むと、自分ができないことは他の誰かがやってくれるので、無理をしない取り組みになっていくのではないかと思いました。
- 自分で意識して行動するのはもちろん大切だけど、みんなで呼びかけ合って eco するのも、とっても大切なんだ!!って改めて分かりました!
- とても簡単なことから取り組めるのに、こんなにも多く二酸化炭素を減らせるのはとても良いと思います。もし世界中の人が取組んだら、地球はより良くなれると思いました。
- みんなが環境に配慮したら地球は変わると思いました。

<こんなことをやってみようと思った>

- 「また部屋に戻るからいいか」と用のない部屋の電気を消さずにリビングでテレビを見ていたので、今後、用のない部屋の電気は消して、前よりも節電を心がけたいと思います。
- 次から、トイレの扉の内側に「ちゃんと電気を消す」と書いた紙を貼っておこうと思います。
- これまでは節電についてあまり考えていなかったのですが、少し不自由な気がして大変でしたが、取り組んでいくと、いつも無駄に電気を使っていることが分かってきました。これからは無駄に電気を使わずに、必要な分だけの電気を使って温暖化対策に貢献していこうと思いました。
- 暇になったら冷蔵庫を開けてしまうので気を付けます。
- エアコンのフィルター掃除ができなかったので、どうするか計画を立てたい。
- エアコンの使い方に気を付け、日差しが強くて部屋が暑い日はカーテンを閉めたままにしておくなどの工夫をする。
- クーラーについて調べたら、つけたり消したりしないほうが節電になると初めて知りました。
- 二酸化炭素排出量が一番多いのは車を使用することなので、将来は電気自動車を買おうかなと思った。
- 部活から帰ってきてご飯を食べるとき、お腹が空いているので欲張ると、食べきれないことが多かったのですが、食べきれ分だけよそいたいと思いました。
- テレビやゲームの切りが悪く、連続してお風呂に入れなかったときがあったので、自分が一番にお風

呂に入って、そのあとにやりたいことをやろうと思った。

- 夜遅くお風呂に入ったり、夜更かしをしたりしていたので、自分の生活習慣を見直そうと思った。
- 髪を洗っているときはシャワーを止めて、少しでも節水するようにしたいと思いました。
- 急な買い物をするとき、エコバッグを持っていないことがあったので、気を付けていきたい。
- マイバッグの大きさが足りなくてレジ袋を買ってしまったことがあったので、どれくらい買うのかの見通しを立てておかないといけないと思った。
- ペットボトルも環境にはよくないのかもと思いました。なるべく水筒を使えば、お金の節約にもなるし、環境のためにもなると思います。
- 消費するものを大切にできていなかった。これからは、消費者の責任を持って、考えて買う。

<自分にもいいことがあった>

- 毎日意識して取り組むと、環境に配慮していると感じて、すがすがしい気持ちになった。
- 節電や節水は二酸化炭素削減と共に電気代や水道代も減らすことができるので一石二鳥だと思った。
- 以前はエアコンの温度を低く設定していたが、適正な温度になって、電気も節約、体も大事にできた。
- 環境にやさしい生活をする中で、私たちの生活も豊かになることが分かった。
- 家族全員で協力をして楽しかったです。
- いろいろなことに気を配らなくてはいけなくて大変だった。だが、しっかりとやることをやったら達成感があり、楽しんでできた。
- ゲーム感覚で楽しくできました。
- 自分の取り組みがとれだけの二酸化炭素削減に貢献したのかが可視化できて、とてもいいと思いました。

<地球温暖化を意識した>

- 最近テレビで「地球温暖化」を超えた「地球沸騰化」という言葉を聞き、まだまだ暑くなる世界を少しでも止めたいと思った。なので、自分が簡単にできることはやっていこうと思う。
- 今年の夏はニュースを見ていると「観測史上最高気温を記録しました!」など地球温暖化の影響を耳にすることが増えたので、この取り組みに限らず、日常的に環境を大切に生活していこうと思いました。
- 今年は6月から暑く、地球温暖化がどんどん進んでいると感じた。このままでは、僕が大人になったとき、4月でも暑い日があったり、沖ノ島が海面上昇によりなくなったりしてしまうかもしれない。今回のチャレンジを一人一人が習慣にして、心がけることが大切だと思った。
- 地球温暖化は私たち若い世代が止めたいと思います。

<もっと広めてほしい>

- 身近で簡単に出来ることが多いので、習慣づけばもっと二酸化炭素を減らすことができると思う。こういうことをネットやテレビで発信し、中学生だけでなく、もっといろいろな人に伝えてほしい。
- 大和市のたった2.4%、人口24万人の内5,900人しかいない中学生だけでなく、その他の市民に呼びかけていくほうが大事ではないでしょうか。
- 自分が日々どれだけ資源を使っているかを実感しました。たくさん省エネしてみても、少しだけでも自分が取り組むだけで地球の未来は変わるんじゃないかと思いました。今まで資源を無駄遣いしていたのかと思うともったいない気がします。これからの目標はまず自分や家族を始め、色々な地域の人に資源の無駄遣いをしないでと訴えたいです。

6) 家族の感想・コメント

生徒と一緒に「かんきょうノート」に取り組んだご家族にも、取組みを通じて気づいたことや感じたことなどを「感想・コメント欄」に記入してもらいました。主なものは、次のとおりです。

<がんばっていた・よかった・助かった>

- 毎日、自分の中で目標を立てて行動出来ていました。「家族での節水に取り組む」では、私が水を出したままの時に「ちゃんと閉めて」と注意されてしまい、「しっかりした子になったな」と思いました。これから、もっとしっかりした大人になってほしいと思いました。

上記のほか「がんばっていた」という意見は大変多く、家族も巻き込んで、自分から取り組んでいるお子さんの姿に成長を感じ、感動した保護者の方の姿が数多く見られました。

- 今までの生活を見直すことができてよかったと思います。
- 今回、特にお風呂にスムーズに入ってくれたのが節約になって助かりました。
- テレビをつけっぱなしにするのをやめただけでも節電になり、何気ない会話が増えてよかったです。

<こんなことをしていました・してみました>

- アプリを使用して電気を多く使う時間や曜日を確認して節電に取り組んでいました。
- サーキュレータを併用し、設定温度は28～29℃にしました。また、自動運転やタイマーも活用しました。
- エアコンのフィルターを掃除しました。においも取れ、エアコンの効きもよくなりました。

エアコンの工夫はさまざまに見られました。一部屋だけで使用し、昼間はなるべく集まって過ごす（会話も弾んで一石二鳥）、夜は同じ部屋に家族そろって寝る、カーテンを閉めたり、タープを張ったり、窓に遮熱シートを貼ったりするなどのほか、新しく効率のよいエアコンを導入したというご家庭もありました。

- シャワーなど、お湯になるまでの水をちゃんと湯船に入れてムダがでないように対策していました。

お風呂での節水・省エネについては、このほかにも、シャワーを32℃に設定した、節水シャワーヘッドに変えた、などがありました。

- まとめて料理をしたり、鍋に蓋をしたり、電子レンジを活用したりすることで、ガスコンロの使用時間を短くしました。
- 今までテキトーに捨てていたものを「これは何ゴミか?」と考えてから捨てるようになってくれました。
- ネットスーパーやデリバリーを使用せず、地元の野菜を多く消費した。
- 食べきれないお菓子の賞味期限を確認し、フードバンクに提供するなど、自分でできることを意識して行っていました。
- 野菜の皮などのごみを減らすよう、なるべく野菜をまるごと食べられるレシピを調べて料理しました。
- できるだけプラスチックを使用したものは買わない、使わないを心がけています。ペットボトルのごみを捨てないよう、家でお茶を作るなどを多くの方がしていけば地球温暖化は止められると思いました。
- 我が家はこの春から太陽光発電をとりつけました。モニターパネルをつけて電力の見える化をして、節電や電線の先にあるエネルギー源について以前より考える様になりました。子どもたちがこれからの未来のことをきちんと自分事とらえるようになってほしいです。

<これからも続けたい・続けてほしい>

- こういった取組みが地球温暖化を防ぐことにつながるんだということが学べたので、これからもこの学びを忘れずに家族みんなで自然と取り組めると良いなと思います。
- 意識してやることはいいと思います。休み中だけでなく普段からしてほしいな。ありがとう。

<こんなことをやってみようと思った>

- コンビニではマイバッグを持参することがないので、いつもバッグにマイバッグを入れておきます。
- 改めて見ると、常にマイカーで移動しているので、健康のためにも散歩がてらなるべく歩いたりしよう。
- 気温が高い日や雨の日の買い物は車を使ってしまいがちなので、まとめ買いをするなどして、買い物

に行く回数を減らそうと思いました。

- 食事を作りすぎて捨てるが多かったので、気を付けます。
- ついつい服や靴など、いいなと思ったら買ってしまいうせがあるので、じっくり考えて良いものを買って、長く使っていこうと思います。

<もう少しがんばって!>

- こういう課題は、夏休みの最初に伝えてほしかった。そうすれば家族全員で、より高い意識をもって取り組むことができたはず。次回からちゃんと教えてね。
- エアコンをつけているときはドアをきちんと閉めてほしい。電気も消そう。
- 部屋にこもってゲームや動画を見ていることが多く、同じ部屋で過ごせばエアコンもテレビも無駄に使うことはなかったかなと思います。
- たまに冷蔵庫を開けて涼んでいたのに注意しました。
- 好き嫌いをなくして、食べ物を残さず食べてほしい。
- 今年は雨が少なく水不足なので、よく考えて水を使ってほしかった。出る水の量を気にしてほしい。
- ゴミの分別をもう少し覚えてくれると助かります。
- 早めに行動することで時間に余裕ができて、公共交通を利用できるようになるとと思います。

<よい取り組みだと思う>

- 3年間、夏休みといえば「かんきょうノート」と思い浮かぶほど。普段の生活でもこのノートがきっかけで、節電・節水など環境について考える機会が増えましたね。この取り組みを通じた学びから、より深く環境問題を学べたこと、一人一人の取り組みがいかにか切かを知れたことが大変よかったです。
- これから生きていくために、ひとごとではなく自分たちのこととして捉えられるようになる、とても大切な取り組みだと思います。
- 今回のような取り組みによって、ちょっとゲームのような感覚で子どもたちの日常の行動が美しくなっていくのは素敵なことだと感じました。
- 親から言われるよりも子どもへの意識づけができていいなと思いました。これを機に節電お願いね!
- 10年前と比べても、本当に暑くなったと感じます。生物が住めなくなる場所が増えていってしまうのではないかと思う位のレベルです。日々、環境に悪いことをしない習慣を作るため、今日のチャレンジはとても役立ちました。
- 家族全員で節約ができ、そして、家族の絆も深まった。

<多くの人に取り組む意義について>

- 一人一人、小さなことからコツコツと積み重ねて、地球を守る気持ちと行動を世界中のみんなと共有したいです。まずは自分から、とても大事だと思います。
- 家族全員でというのは、なかなか難しいですね。全員で出来る事を一つでも増やせばと思います。
- 一人の行動は大きくないが、多くの人達が実行できれば大きな力になります。是非、周りの人達に発信してください、

<そのほか>

- この夏も猛暑で、昨年よりも確実に気温が上がっている事に恐怖を感じます。コロナ当初のロックダウンでの成果を期待し、人々が仕事や活動しない日をつくる等、世界中の国々の大規模な意識改革が必要だと思います。
- 自転車で車道を走る際雑草が伸びっぱなしになっていて走りづらい危ないです。車道を走れというのなら環境整備をしていただきたいです。
- 今、ただでさえ気温が高いのに、エアコンを消して節電するのはきついなと思いました。娘の課題に家族を巻き込まないでほしいです。
- せっかくの中学生の夏休みの宿題ならもっと踏み込んだ事に挑戦してもいいと思いました。
- 子どもの体調がすごく心配になった。やりすぎだなと思うほどやっていたので怖かったです。

2. 小学校の取組み結果

1) 取組み項目と取組みの評価方法

小学生版の「かんきょうノート」では、10の項目に1週間チャレンジしてもらいました。項目の内訳は、表9のとおりです。

表9 小学生版「かんきょうノート」取組み項目

No	分野	内容	1年間実施した場合の二酸化炭素削減量(kg/年)
1	節電	テレビを見ていないときは消す	8
2	節電	部屋の電気をつけっぱなしにしないでこまめに消す	2
3	節電	冷蔵庫を開けている時間を短くする	3
4	節水	水道を使うときは水を出しっぱなしにしない	2
5	節電	夏は28度、冬は20度をめやすに冷暖房の温度設定をする	41
6	暮らし方	ごみは決められたとおりに分けて捨てる	18
7	暮らし方	買い物には、マイバッグなどを持っていき、レジ袋は利用しない	12
8	節電	部屋を片付けてから掃除機をかける	3
9	暮らし方	好き嫌いをせず、食事を残さない	34
10	節水	シャワーを使うとき、流したままにしない	29

各取組み項目について、7日間毎日取り組めた場合を100%とし、取組みごとに達成率を算出しました。また、各取組み項目を1年間実施した場合の二酸化炭素削減量を上記のとおりとし、達成率に応じ、削減できた二酸化炭素排出量を算出しました。

2) 取組みのまとめ

令和5年度は、南林間小学校1校のみが取り組みました。結果は表10のとおりです。

表10 小学校の取組み結果

小学校名	参加者数	全体の二酸化炭素削減量(kg/年)	一人当たりの二酸化炭素削減量(kg/年)	達成率
南林間小学校	73人	7,811	107	73.6%

3) 項目別の取組み状況

項目別の取組み状況は、表11のとおりです。

「達成率」が80%を超えたもの、「二酸化炭素削減量」が上位3位までのものに網掛けをしました。

「水道を使うときは水を出しっぱなしにしない」、「冷蔵庫を開けている時間を短くする」など、日頃よくする行動について意識して実践した様子がうかがわれます。一方、「夏は28度、冬は20度をめやすに冷暖房の温度設定をする」については、猛暑のため、「部屋を片付けてから掃除機をかける」については、自ら行動する機会が少なかったため、達成率が低くなったのではないかと考えられます。

二酸化炭素削減量について、「好き嫌いをせず、食事を残さない」、「シャワーを使うとき、流したままにしない」、「夏は28度、冬は20度をめやすに冷暖房の温度設定をする」の3つの項目は、いずれも削減効果が大きいもので、「シャワーを使うとき、流したままにしない」については達成率も高かったことから、削減量に大きく貢献しました。

表11 項目別の取組み状況

No	内容	達成率 (%)	1週間で取り組めた日数(日)	二酸化炭素削減量 (kg)
1	テレビを見ていないときは消す	79.1%	5.5	153.5
2	部屋の電気をつけっぱなしにしないでこまめに消す	76.5%	5.4	37.2
3	冷蔵庫を開けている時間を短くする	82.0%	5.7	59.6
4	水道を使うときは水を出しっぱなしにしない	84.3%	5.9	40.9
5	夏は28度、冬は20度をめやすに冷暖房の温度設定をする	48.7%	3.4	484.2
6	ごみは決められたとおりに分けて捨てる	81.7%	5.7	356.6
7	買い物には、マイバッグなどを持っていき、レジ袋は利用しない	70.2%	4.9	203.4
8	部屋を片付けてから掃除機をかける	52.3%	3.7	38.0
9	好き嫌いをせず、食事を残さない	79.4%	5.6	655.7
10	シャワーを使うとき、流したままにしない	81.7%	5.7	574.5

4) 児童が感じたこと

「かんきょうノート」に1週間取り組んでみて感じたことを書いてもらいました。主なものは、次のとおりです。

<できた! がんばった!>

- ちゃんと取り組んでみたら、最後には高得点を出せました。
- 全部やるのはむずかしいけど、前よりできるようになった。
- 少しはエコにこうけんできたかなと感じた。
- できるだけ○の数を増やした。
- 節約などを自分から進んでできるようになった。
- こんな小さなとりくみで生活が少し変わった。
- 想ぞう以上にむずかしかったけれど、とてもいい結果が出て、自分的には満足です。1週間だけでなく、一生がんばりたいと思いました。
- 1週間取り組んだけど、これからも続ける!(書いてあるし)

<意識する>

- 少し意識してみると全然ちがう。
- 改めて、意識することが大切なんだと思いました。
- 今まで意識していなくてもこのような活動に自然と取組んでいたと思っていたんですけど、いざやってみると意外と地球のためにする活動ができていなくてびっくりしました。これからはちゃんと意識して活動します。
- いろいろなことを見直して考えると、自分でできていないことがあるんだなと思いました。
- 1週間やって、節電する意識が高まった。
- 買い物でマイバッグを使い、意識して生活するのが大切だと思った。

<いい気分になる>

- かん境にいいことをすると、いい気分になった。
- SDGsに取り組んでいるみたいでなんだか「すっきり」した。
- とても国のためにやっている感じがしました。

<簡単だった>

- 意外と簡単に気を付ければできることが多いと思った。
- 意外にできていた。
- こまめにやれば、あんがいてきる。

<むずかしかった>

- 意識しないとできないこともたくさんあった。
- 最初は全部当たり前のことと思ったけど、意外とうまくいかないところもあってむずかしかった。
- 意識するのがむずかしかった。
- できないのが何個かあった。
- 大変だった。
- 意外とできていないのが多かった。部屋を片付けてないなーって思いました。
- ちょっとめんどろ。うっかりわすれちゃうときがある。

<続けたい、がんばりたい>

- かん境を大切にしようと思った。
- これからもがんばりたいと思った。
- もう少しがんばりたいと思った。
- もっと節約をがんばろうと思った。
- いつも自分がやっていることもあって、でも、やってないこともあったので、これからも続けていきたいと思います。
- 簡単なことなのでこれからも取り組んでいきたいです。
- これからも続けたい。
- いつもよりちょっと気をつけるだけでかん境に良いことができていると思うと、もっと続けたくくなりました。
- これからもちゃんと気にしようと思った。
- 節電節水などに取組み、このままエコライフを続けていきたいです。
- 電気や水を大切に使い、電気・水のおだづかいをしないように、このことを続けたいと思います。
- もったいないをなくしたい

<冷ぼうについて>

- 冷だんぼうをもう少し意識して取り組みたい。
- 冷ぼうのは〇が一つもつかなかったので、これからほかの取組みをやりつつ、取り組もうと思います。
- 28度、暑すぎて生活できなかつた。次はリベンジしたい。
- 冷ぼうの温度設定は不可能だと思った。28度なんかにしたら死んじゃう。
- 家の中で一番電気を使っているのはエアコンだと思いました。外が暑いのでエアコンを28度にしてもすずしくならない。
- 夏は暑いから、どうしても24度とかにしていたから、電気代がもったいない!!って考えるようにする。
- 冷ぼうがむずかしかつたけれど、できるだけ温度は28度に近づけて、せん風機にしたり、タイマーを短くして、外の風をできるだけ使うようにした。

<そのほか>

- 嫌いな食べ物は少ないから取り組みやすかつた。
- 食べ物を残さないことでごみを増やさないこともエコライフの1つだと思いました。
- ごみは決められたとおりに分けることはじょう識けれど、それが地球温暖化につながることは初めて知つた。
- 意識はしたけれど、シャワーを流したままにしないは、なかなかできてない!?
- シャワーを使うとき、出しっぱにしてたから、いちいち止めるようにしようと思った。

5) 家族の感想

児童と一緒に「かんきょうノート」に取り組んだご家族にも、取組みを通じて気づいたことや感じたことなどを「感想欄」に記入してもらいました。主なものは、次のとおりです。

<がんばっていた>

- しっかりと取り組んでいました。
- エコの事を考えながら夏休みを過ごしていました。
- 日頃から、マイバッグの持参や冷蔵庫を閉める等、エコを意識している場面が時折見られました。
- 電気は親よりもよく気づいて消している姿が見られ、エコを意識しているようです。親も見習っていきたいと思いました。
- 積極的にゴミ捨てに行ってくれました。資源の分別もしっかりできていました。
- 普段は何となくテレビをつけていたり、シャワーを長めに出し続けていたりと気にせず生活をしていましたが、この1週間はしっかりと意識して取り組んでいました。
- 掃除機をかけてもらって、とっても楽だった。
- エコを意識した生活を送れていたと思います。公共料金の明細が楽しみです。
- ちょっとした行動でもエコにつながるがよく分かりました。娘の頑張りを見習って、お母さんもエコを心がけます。
- 特に「部屋の片づけ→掃除機がけ」を一生懸命やってくれました。CO₂を排出するという意識はなかったので、これからは家族で意識して、上手に使っていきたいと思います。

<これからも続けよう>

- 毎日の生活において常にエコライフに気をつけていました。楽しみながら節電・節水など頑張っていたので、これからも継続してもらいたいです。
- 普段から意識して生活できると良いと思います。
- 日々の習慣になるよう、これからも取り組んでほしいです。
- 家族でエコライフの共通認識ができてよかったです。これからも続けていきたいです。
- 1週間エコライフを心がけて生活してみて、今まで意識していなかったところまで気づくようになった。これからも毎日取り組んでほしい。
- 日常で何気なく行動している事を「エコライフ」に取り組むという考えのもとに気を使いながらできたので良かったです。今後も続けてほしいです!!
- 自分ができることをコツコツ積み重ねること、そしてそれを「続けること」に大きな意味があると思います。今回の気づきを毎日の生活に活かしていきましょう!
- 二酸化炭素を減らそう!とはいつも意識していませんが、普段からしている“節約”が二酸化炭素を減らす事につながると分かりましたので、これから今以上に節約したいと思います。
- 本人に促して取り組むことも多々あり。まだまだ自然と身につくには時間がかかりそうです。資源は無限にあるものではないので、これからも取り組んでほしいです。
- ママが小さかった頃に30度を超えることなんてなかったので、本当に年々世界の平均気温が上がっていることは深刻な問題です。家族で取組めることを引き続きやっとう!!
- 野菜を育てている知りあいが「雨が降らないから育たない」と言っていた。異常気象であることはまちがいない。この状態が続けば食料不足となり人間同士の争いも起こるだろう。地球を大切にしようという努力している理由を忘れずにエコライフを続けましょう。

<もう少しがんばろう>

- どれも普段から気にかけて実行している事だなと感じましたが、シャワーは流したままで使っているのが今後は家族みんなで、気を付けていこうと思います。
- 特別、注意して取り組まなくても、普段から家族でやっていることだなぁ、と思いました。たまにエアコンを消し忘れしているので気をつけましょう。

- 毎日、意きして過ごすことが大切。「好き嫌いをせず、食事を残さない」ができていなくて、とても残念です。これからも家族で気をつけよう!
- 冷房の設定は高めにすると“暑すぎる!!”と言われ、だれもない部屋で扇風機が動いている事もあり、ごみもそのまま…。エコライフとは程遠いと思う生活ばかりなので、ぜひ、もう一度、項目をよく見直して、エコライフを継続してほしいです。
- 自分の部屋が散らかりやすいので、片付ける習慣をつけてほしいです。
- 「ごみを分けて捨てる」ですが、母から言いますと、分別の前にゴミを置きっぱなしにしており、母に言われてから捨てるか、私が捨てた時が多いです。分別の前に食べたりしたらすぐ捨てるも入れてほしいです。
- もう少しできることが増えるとよいですね。
- もう少し外で遊んでほしかったです。
- シャワーを止めるボタンを使ってくると水とガスが無駄にならないかな。2部屋以上は電気をつけない様にしていつも気にしてくれていてすばらしい!!
- 我が家は全員でエコライフを意識する必要があると感じました。コツコツと努力しようね。ずっと家にいる時はテレビを消してもらえると助かります!!

<こんなことをやってみようと思った>

- エコについて考えるきっかけになり、自分の生活と結びつけて考えることはとても大切だなと改めて思いました。家庭でも他にもエコについてやれることがないか、話し合いたいなと思いました。
- 普段より項目の取り組みについては習慣になっており、感心している所です。これを機に家族も改めて意識をし、引き続き継続していこうと思う次第です。物価も高くなっていますし、フードロスも心がけていきたい所です

<よい取り組みだと思う>

- 一週間、環境に配慮した生活ができてよかったです。
- 娘が毎日、節電・節水に気を付けて生活をしていたので、良い取り組みだと思った。
- 日常の何気ない行動を見直す良い機会となりました。家族全員で小さな積み重ねを意識しながら過ごしていきたいです。
- 毎日、気をつけて実践しているつもりでも、項目で書き出してみると、こんなにあるんだと子どもと驚きました。家族で話し合うきっかけとなり良い取り組みだと思えます。
- この宿題をやることによって、今までは気にしていなかったエアコンの設定温度やゴミの分別のしかたについて私に聞いてきました。宿題が終わってもエコライフに興味を持ち、実践してくれたら嬉しく思います。
- 節約が大事だと思いました。
- この宿題をやることによって、今までは気にしていなかったエアコンの設定温度やゴミの分別のしかたについて私に聞いてきました。宿題が終わってもエコライフに興味を持ち、実践してくれたら嬉しく思います。
- 猛暑のため、どうしてもエアコンの温度設定が低くなりがちです。ですがエコライフのチェック項目をつけることで、毎日の生活意識が変わる気がします。1人1人め小さな心がけが、大切だと思いました。

3. 中学校・小学校の取組みのまとめ

令和5年度の、中学校と小学校を合わせた取組み結果は、表12のとおりです。

表12 中学校・小学校の取組み結果

項目	中学校	小学校	計
参加者数(人)	3,871	73	3,944
全体の二酸化炭素排出量(kg/年)	1,961,346	7,811	1,969,157
一人当たりの二酸化炭素排出量(kg/年)	507	107	499

3,944人が取組み、この取組みを1年間続けた場合の二酸化炭素削減量は約1,969トン(1トン=1,000kg)となりました。

令和4年4月、大和市は、「大和市地球温暖化対策実行計画」を策定し、令和12(2030)年度までに、大和市全体の二酸化炭素排出量を平成25(2013)年度と比べて46%削減するという目標を立てました。図2のとおり、平成25(2013)年度の家庭部門の二酸化炭素排出量は、約312,100トンだったので、46%削減するためには、約143,520トンの削減が必要となります。ところが、令和2(2020)年度の家庭部門の二酸化炭素排出量は、約307,730トンとなっており、このままでは目標達成は難しい状況です。

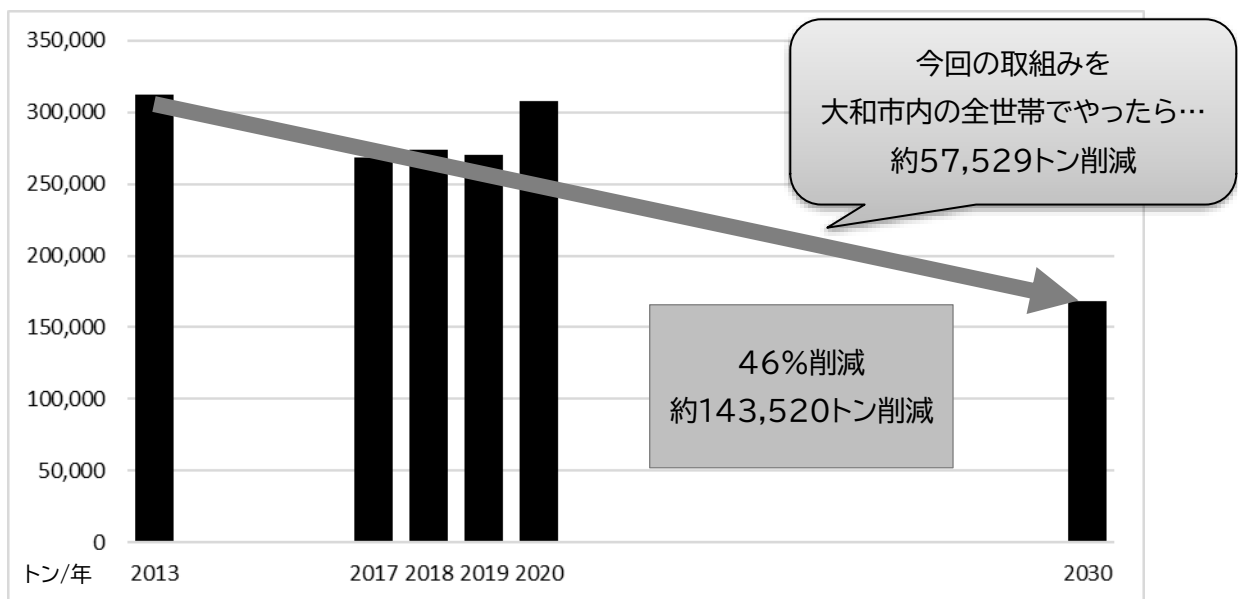


図2 大和市の家庭部門の二酸化炭素排出量

今回の取組みを1年間続けた場合の二酸化炭素削減量、約1,969トン(1トン=1,000kg)は、令和2(2020)年度の家庭部門の二酸化炭素排出量の0.64%と、ごくわずかです。ですが、一人当たりの二酸化炭素削減量は約499kgなので、今回の取組みを大和市内の全世帯(115,289世帯、令和5年11月1日時点)で1年間取組めば、約57,529トン削減することができ、目標に一步近づくことができます。一人一人にとっては小さな取組みでも、その取組みが多くの人に広がることで、大きな力になります。

4. 今回の見直しと今後の課題

1) 中学生版について

- 従前は A3サイズ両面刷りでしたが、A4サイズ両面刷りとしました。地球温暖化について詳しい説明を載せていましたが、「JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター」が発行する「地球温暖化防止ハンドブック」へリンクできる二次元バーコードを掲載し、各自見てもらえるようにし、のべ969回閲覧されました。
- 「エアコンの運転を減らす工夫をする」「照明に LED 電球を利用する」の代わりに「電気ポットを長時間使わない時はプラグを抜く」「お風呂は間隔をあけずに続けて入る」を追加しました。「お風呂は間隔をあけずに続けて入る」については、「二酸化炭素の削減につながるとは知らなかった」「難しかったがやれるようにしたい」などの声があり、取組みがいのある項目であったと思われます。「電気ポットを長時間使わない時はプラグを抜く」については、電気ポットを持っていないとの理由ですべてにチェックをした人がいた一方、チェックをしない人も多かったため、再検討の余地があると考えます。
- 神奈川県提供の電子申請システム e-KANAGAWA を活用し、電子申請による回答もできることとし、中学校の参加者の約36%が電子申請を利用しました。紙での回答と比較し、集計の手間を大幅に省略することができましたが、紙での回収率が約76.6%であるのに対し、電子申請での回収率は約52.4%にとどまりました。毎日、記入することで取組み意欲につながることや、保護者も意識する等、紙での回答によるメリットもあることや、市立中学校で使い慣れている Google フォームでの回答を望む声もあります。よりよい方法について、引き続き検討していきます。

2) 小学生版について

- チャレンジ項目について、従前からの変更はありませんでした。
- 令和5年度は、参加校が1校のみとなりました。環境教育に関するほかの教材を使用します、という声もありました。

令和5年度 市内小中学校における「かんきょうノート」の取組みについて
(大和市環境学習支援事業報告書)

令和5年12月

編集・発行:大和市 環境施設農政部 環境総務課 地球環境係

〒242-8601

神奈川県大和市下鶴間一丁目1番1号

TEL:046-260-5493・FAX:046-260-6281